

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立成育小	学校	児童数	138
---------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	17.04	20.11	33.18	41.21	56.40	9.19	152.51	22.57	55.20
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.06	17.91	35.96	37.81	41.50	9.55	146.70	11.95	53.36
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は、ほぼ全ての項目において、大阪市・全国平均より上回った。長座体前屈だけは、大阪市平均を上回り、全国平均よりは少し下回った。体力合計点では、大阪市・全国平均よりも上回った。

女子は、20mシャトルランと50m走、立ち幅とびにおいて、大阪市・全国平均を上回った。しかし、残りの5項目においては、大阪市・全国平均を下回った。特に、長座体前屈とソフトボール投げに課題があった。体力合計点では、全国平均よりは下回ったが、大阪市平均よりは上回った。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童の割合は、男子が91.9%（大阪市94.0%/全国93.4%）であり、大阪市・全国平均より下回ったが、女子においては90.0%（大阪市85.0%/全国85.8%）であり、大阪市・全国平均より上回った。

「1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合」は、男子が11.9%（大阪市11.7%/全国9.8%）、女子が22.9%（大阪市20.0%/全国17.3%）であり、男女共に大阪市・全国平均より上回り、総運動時間が少なかった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度に続き、校舎建て替え工事のため、運動がしにくい状況にある。そのため、今年度は児童の運動をする機会を増やすことを目指し、様々な取り組みを行ってきた。運動委員会の児童を中心に、体育科の授業や休憩時間を活用した取り組みを計画し、実施した。内容として、「教室でできる柔軟運動」や「場やルールを工夫したドッジボール」、「みんなが楽しめる鬼遊び」を行った。また、体育科の授業の中で「縄跳びカード」や「駆け足カード」等を活用し、児童の意欲を高められるような工夫も行ってきた。以上のことにより、児童の運動をする機会を増やすことができ、また児童たちが運動を楽しむ姿がたくさん見られた。

さらに、昨年度の体力テストの結果と比べると、男女とも記録は大幅に向上している。校舎改築工事のため運動場が狭くなり、体を動かす機会が激減したことが昨年度までの課題であったが、児童の運動をする機会を増やす様々な取り組みや、学級・学年での体育の学習等での様々な工夫によって、体力の向上が図れたと考えられる。今後も、狭い場所でもできる運動や一人でも体力の向上が図れる取り組みを行うこと、全学年ができる限りたくさんの運動をするために講堂使用の配当を見直すこと、近隣グラウンドの活用ができるようにすること等、児童の運動やスポーツをする機会や場所の確保をしていく。